

平成23年度奈良市子ども読書活動推進委員会会議録

開催日時	平成23年10月31日(月) 午前10時から正午まで	
開催場所	奈良市役所北棟6階22会議室	
議題	1 5年間の取組について 2 奈良市子ども読書活動推進計画における5年間(平成19年度～平成23年)の成果と課題、今後の方針について	
出席者	中室教育長	
	委員	松川委員長、小西委員、花木委員、今井委員、福岡副委員長、大寺委員、林委員、松嶋委員、斧原委員、明田委員、北谷委員、田町委員、川畑委員、寺田委員、濱口委員、大嶋委員 【計16人出席】 <代理出席> 中岡教育総務課補佐(大寺委員)、 椿井教育支援課補佐(田町委員) <欠席> 新免委員
	ワーキンググループ	野儀、八尾谷、寺田、安田、竹村、西野、市川、山中、北山、渡邊 【計10人出席】 <欠席> 岡田
	事務局	地域教育課(小橋、市川、山副、北山)、教育支援課(山中、渡邊)
開催形態	公開(傍聴人0人)	
決定事項	奈良市子ども読書活動推進計画—5年間(平成19年度～平成23年度)の成果と課題—及び今後の方針等について	
担当課	教育総務部地域教育課	

議事の内容

1 5年間の報告について

「奈良市子ども読書活動推進事業計画に係る5年間の取組と成果等の報告書」を基に、各課・各事業所が報告を行った。

2 意見交換

【質疑・意見の要旨】

委員長 それぞれの課及び図書館での5年間の取組が継続され、さらには年々改善をして今に至っているということがよくわかりました。ただいまの報告等につきまして、ご質問やご意見がありましたら、お願いします。

川畑委員 平成19年度に学校の図書室、学級にある本について、廃棄は一切しないということでスタートして今年で5年です。倉庫に括ったままの読めない本、学級文庫のボロボロになった本の廃棄はできないのか、という学校現場の図書館担当の先生方の声があります。実際に子どもたちが手にできる本はどれくらいあるのかを調べていただくと、かなり変わってくるのではないかと思います。

司書教諭の授業日数軽減について、軽減している学校もあるようですが、人員をプラスして派遣していただいているわけではなく、学級担任が学校の図書館を担当しているので、現実には授業時間を軽減するというわけにはいかないの、管理職みんなが苦勞しているところだと思います。

今井委員

先生方に学校図書館をもっと開放してほしいというお話をしても、手が回らないという回答をいただく現状です。

5年間の取組は、どれもすばらしく、もっとこれからも取り組んでいただけたら、と思いました。子どもたちに本を読んでもらうということは、小さいときから聞かせるだけではなく、私たち保護者も本に愛着をもっていかなければならないと、勉強させていただきました。

花木委員

5年間お付き合いいたしまして、最初、この子ども読書推進計画が狙上に上がりましたときは、全体としての雰囲気は、本といったら図書館、子どものことは学校、読書は一部の本の好きな人が個人的にやることで、市の計画として子どもの読書なんてどんなふうに取り組むのか、という戸惑いのようなものがあつたのではないかと思います。自分のところでできることをさぐりながら5年間、継続してこられたことの成果は本当に大きいと、今日うかがっていて思いました。健康増進課も、赤ちゃんに本なんて、というのが多分あつたと思いますが、いまやまだお母さんのおなかの中に子どもがいるときから本というものが大切、また赤ちゃんが生まれたら歯と同じくらい本が大事、という子どもの育ちの中で当たり前のこととして本のことを捉えられるようになったということはとても大きな事ですし、また、こういう当たり前だという考え方が一番大きな力になるのではないかと思います。

また、蔵書は数ではなく内容だ、というようなことがあつて、次のステップとしては、子どもが手に取れる本をどんなふう魅力的にしていくなか、更新の冊数も指標の一つとして蔵書の活用を考えていけるとよいと思います。

西部、北部図書館がおっしゃられたように、司書の資質が成果を生む土台になるものだと思います。図書館が市の読書活動推進の協力や連携の核であり、その中で何が動くかという「人」のことではないかと思いますので、司書の研修の機会や方法も真剣に考えていけたらいいなと思います。

それぞれの部署が互いに意識をして、互いにできることを連携しながら「こんなことなら、あそこに頼んだらできるよ。」というつながりが見えてきたということは、本当にこの5年間の大きな成果だと思います。

委員長

「教育」と名の付く部署だけでなく、「子育て」や「子ども」に関する機関が一堂に会して、できることをやっていくというのは、奈良市のよい点だと思います。

小西委員

片山前総務大臣が最近、文字・活字文化推進機構で講演なさつた講演録『学校図書館と知の地域づくり』があります。片山前総務大臣は「光を注ぐ交付金」を補正予算の中に創設されました。奈良市では、その交付金で西部図書館が新しいBM車(移動図書館車)を買われる、ということをお聞きしました。すばらしい使い道だなと思います。一方で片山前総務大臣は、図書館も「人」の問題だから、そんなところにも光を注いで欲しい、そんな地域のための交付金だ、とはっきりおっしゃっているんです。財政の厳しい状況もありますが、例えば、司書の数を増やすとか、司書教諭を全校に配置していただくなどして、人のための予算としていただけたらと思います。以前、奈良市でモデル校として協力員が配置されたときの前例を考えてみても、何か工夫して何かをしようという皆さんの力で、そういったものを活用しながら、次に進む5年間の成果を、より前進させていただけたら嬉しいなと思いました。

委員長 ありがとうございます。5年間歩んできましたので、その実がありました。さらに発展していくことを委員長としても強く願います。

3 奈良市子ども読書活動推進計画―5年間(平成19年度～平成23年度)の成果と課題―、今後の方針等について、ワーキンググループから提案を行った。

4 意見交換

【質疑・意見の要旨】

委員長 これからの見取り図が示されました。これにつきまして、先ほど各委員の方からご意見を頂戴いたしました中に、方向性を示すものもあったかと思えます。今、資料をご覧いただいたばかりではありますが、これだけは、ということがありましたらば、ご意見をいただきたいと思えます。

花木委員 よく読ませていただいて、もしこういうことも中に組み込んでもらったかどうか、というような意見、案があればお伝えする、推進委員会を継続する、ということで、次の5年間継続するかどうかについてはここで議論することではないということですね。

林委員 今、原案を示したばかりなので、できればこの場で方向付けをしていただければと思えます。この委員会そのものは今日しか開けないのですが、ワーキング会議は、年度末まで継続して開いて作業してもらいます。その中でこれをさらに煮詰めて本当の成果にしていきたいと思っています。それをできるだけ新年度の早い機会にご承認いただいて、成果品として発表していきたいと思えます。新年度に新しく検討するとなると空白期間ができてしまいます。その空白を生じさせないために、今日、新しい方向付けをまずいただき、それに基づいてこの成果品を作っていきたいと思っております。

この計画に合わせて、報告書は、基本的に成果と課題を拾い上げて表示をしていくという形で構成されています。ですから、この二つ(「奈良市子ども読書活動推進事業計画の進捗状況等報告書」と「奈良市子ども読書活動推進事業計画に係る5年間の取組と成果等の報告書」)を合わせて、次にどうするかということで繋げていくことができればと思えます。

花木委員 そういうことでしたら、私は、5年間お付き合いしてきました委員と致しまして、ここまで成果をあげられて、それから課題もはっきり見えてきたものもありますので、引き続きその課題をさらによいものにしていかれるよう、是非、委員会を継続されることを希望いたします。

川畑委員 私も、これはぜひとも継続して来年度もまたこのチームワークのいいところでさらに推進していただけたらと思えます。今、中断されてしまっている状況で、データベース化は新しく担当になった先生たちが一番困っているところです。ここに挙げてくださっていることはたくさんいろいろありますので、ぜひとも継続をお願いしたいと思います。

今井委員 私も、ぜひ継続していただけたらな、と思えます。
委員長 (冊子を作成するときには)「ブックトーク」などの専門的な用語に、注釈や説明を加える必要があると思えます。また、資料の提示の仕方として、学校数で示されるグラフよりも、統廃合して学校数が変わるため、パーセンテージで示した方が事実を把握するにはよいと思えます。ご検討ください。

<p>林委員</p> <p>委員長</p>	<p>今いただいたご意見を踏まえて清書させていただきます。</p> <p>この資料は関係者だけでなく一般市民にも見ていただけるようにして、注釈を付した形で用意させていただこうと思います。また、数値を図式化して分かりやすく示し、本文にはどのような資料があるかということも明示できるよう工夫できればと思っています。</p> <p>5年間の成果と課題については、ワーキンググループでさらに検討、修正し、今年度末に完成して、来年4月からすぐ推進委員会が動くことができるよう進めてくださることを期待します。</p> <p>今日は、方向性、骨子等につきまして、この方向で進んでよいということ、拍手をもって承認いただきたいと思います。</p> <p>(拍手で承認)</p> <p>それでは、ワーキンググループを中心に、よりよいものを作ってくださいようお願いいたします。また、担当の課の方も、新たな課題や建設的なご意見を受け止めて、成果と課題の文言、来年度に向けての計画を立ててくださるものと信じております。</p> <p>ひとつだけ、課題というか、例えば「奈良市子ども読書活動推進カレンダー」のようなもので各図書館のイベントが前もって分かっていると、職員の研修や教員の派遣など予定に組み込めるし、各家庭でもB4一枚に提示できたら、予定が把握できて参加しやすいのではないかと思います。それがとりもなおさず子どもの読書活動を推進していく環境になるのではないかと、と思います。</p>
<p>資 料</p>	<p>【資料1】奈良市子ども読書活動推進事業計画に係る5年間の取組と成果の報告書</p> <p>【資料2】奈良市子ども読書活動推進事業計画の進捗状況等報告書</p> <p>【資料3】奈良市子ども読書活動推進計画—5年間（平成19年度～平成23年度）の成果と課題—（案）</p>

平成 年 月 日

署名委員

署名委員
